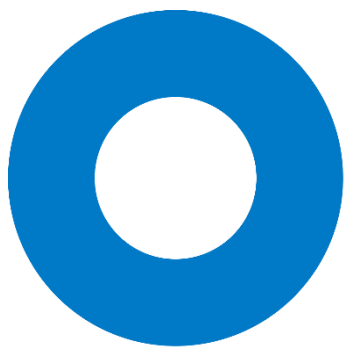




# STOP 糖尿病

糖尿病ケア通信 2020年11月9日発行7号



## 11月14日は 「世界糖尿病デー」

世界糖尿病デーは糖尿病の脅威が世界的に拡大しているのを受け、世界規模で糖尿病に対する注意を喚起しようと国際糖尿病連合(IDF)と世界保健機構(WHO)により、1991年に開始され2006年に国連の公式の日になりました。

シンボルマークである、「ブルーサークル」は青色が世界共通の「青空」と団結を表す「輪」がモチーフになっていて、「**糖尿病のために団結せよ**」というキャッチコピーを表しています。



2020年のテーマは「糖尿病と看護師」で世界各地でキャンペーンが展開されます。糖尿病と共に生きる人々を支援するうえで、看護師が果たす役割は大きい。糖尿病の人が最初に出会い、最も会話しているのは看護師であることが多く、最初に行われる初期評価、ケア、治療の質の向上は重要だ。そのために、世界糖尿病連合(IDF)は看護師の教育への投資や、糖尿病ケアにおける看護師の役割を再認識し前進させるために各国政府に要請していくとしています。

糖尿病ネットワークより抜粋

11月14日は世界各地で、糖尿病の予防、治療、療養を喚起する啓発キャンペーンが開催されるとともに、各地で著明な建造物をブルーにライトアップします。ちなみに青森県では、観光物産館アスパムが、当日18:00~21:00にブルーにライトアップされる予定です。

文責:成田